

7/31

誰もが働きやすい職場を目指して



令和7年6月に厚生労働大臣が認定する、女性活躍推進法に基づく認定（通称：えるばし認定）を取得した㈱平田牧場が市長を表敬訪問しました。同認定は5つの基準に応じて3段階あり、今回は3段階目（3つ星）の認定で、えるばし認定企業は本市で9社目になります。

8/1

友好都市交流再開へ
親善使節団の結団式

今年で35周年を迎える中国・唐山市との友好都市盟約を記念し、令和元年度以降コロナ禍などで休止していた同市との友好都市交流を再開しました。8月14日(木)から、酒田市親善使節団が同市を訪問し、ハイテク産業開発区内企業などの視察や座談交流会、東北公益文科大学学生と現地大学生との交流などを行いました。

8/1～30

夏の夜の彩り



ひらたタウンセンター南側広場でイルミネーションによる飾り付けが行われました。これは、ひらたビッグハートプロジェクトの一環として行われているもので、平田地域の夏をきらびやかにとめています。

8/8～17

神秘的な滝に魅せられる夜



夏の帰省時期に合わせて、升田地区の玉簾の滝のライトアップが行われました。期間中は、ひと時の涼を求める家族連れや帰省客などでにぎわいました。闇に浮かび上がる瀑布は、より神秘的な姿を見せてくれます。

8/14

心をひとつに
復興やわたの夏まつり

酒田市合併20周年記念「復興やわたの夏まつり」が6年ぶりに八幡タウンセンター向かい特設会場で開催されました。太鼓やダンス、中学生による有志発表、最後は盆踊りで盛大にフィナーレを飾り、会場は多くのお客さんににぎわいました。

8/19

地域の環境保全に向けた連携



東北エプソン㈱と本市は、地域のSDGs推進に向けた連携に関する協定を締結しました。両者はそれぞれが保有する資源・情報などを有効に活用し、地域の森林や公園・緑地などの整備保全など、地域の自然環境の保全の推進に向けて相互に連携していきます。

7/25

災害の爪痕を忘れない



大雨災害から一年がたち、災害で亡くなられた方のご冥福を祈り、矢口市長が献花を行いました。その後、復興半ばの各地域の被災地を回り、改めて大雨災害の被害の大きさを確認しました。また市長は「ふるさとカフェ」に参加し、被災者と懇談を行いながら避難生活の近況などに耳を傾けました。

7/31

さかたの声を集めるポスト
「さかポス」開始



デジタル変革による対話を通じた市民参加の推進を目的として、(株)Liquidousと本市は事業連携協定を締結しました。同社の協力により、オンラインで意見を集めるシステム「さかポス」を使った実証実験を開始しています。皆さんの声をお寄せください。



◀さかポス
紹介ページ

8/2・3

ようこそ酒田へ



外航クルーズ船「三井オーシャンフジ」と「ノルウェー・スピリット」が本市に初寄港しました。海外から多くの方々が訪れ、船内から酒田の景色を眺めたり、船を降りて街歩きを楽しんだりする姿が見られました。観光によるさらなる国際交流が期待されます。

8/5

酒田の花火の安全を祈って



市営体育館駐車場で、酒田の花火2025の安全祈願祭が行われました。神事には、主催者の酒田の花火実行委員会や関係者などが参列し、花火開催の安全を祈りました。今年の花火は、熱中症や大雨による河川増水の時期を避け、9月13日(土)に開催を予定しています。

8/8・9

みんなで盛り上がる酒田の夏



さかた夏の縁日まつりで、酒田甚句踊りとS-Jinkuが披露されました。18団体約500人が参加し、酒田の夜を熱く盛り上げました。沿道には多くの観客が駆け付け、息の合った踊りに見入っていました。

8/9～20

ほのかにとる絵灯籠



松山城址館と松山文化伝承館では、お盆の時期に合わせて松山地域出身の画家・佐藤公紀氏の美人画が描かれた大型の絵灯籠を展示しています。夏の風物詩として広く定着している絵灯籠は、夜にはほんのりと明かりがともり、訪れた人々を魅了しました。